

大阪大谷大学  
令和3年度 入学試験問題（一般中期）

日本史

**注意事項**

1. 問題冊子は、全部で7ページです。解答用紙は1枚です。
2. 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
4. 問題冊子は持ち帰ってください。

【1】次の史料A・B・Cを読み、設問に答えよ。

A

大業三年、其の王多利思比孤、①使を遣して朝貢す。使者曰く「聞くな  
らく、②海西の菩薩天子、重ねて仏法を興すと。故、遣して朝拝せしめ、  
兼ねて沙門数十人、来りて仏法を学ぶ」と。其の国書に曰く「日出づる処  
の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや、云々」と。帝、之を覽  
て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く「蛮夷の書、③無礼なる有らば、復た以て  
聞する勿れ」と。明年、上、文林郎裴清を遣して倭国に使せしむ。……倭  
王、小徳阿鞞台を遣し、数百人を従へ、儀仗を設け、鼓角を鳴らして来り  
迎へしむ。

B

(推古天皇十五年) 秋七月戊申の朔庚戌、大礼 [ a ] を大唐に遣は  
す。鞍作福利を以て通事とす。……

十六年夏四月、[ a ]、大唐より至る。唐国、[ a ] を号けて蘇因  
高と曰ふ。則ち大唐の使人裴世清、下客十二人、[ a ] に従ひて、筑紫  
に至る。……

秋八月辛丑の朔癸卯、唐の客、京に入る。……(九月) 辛巳、唐の客裴  
世清、罷り帰りぬ。則ち復 [ a ] を以て大使とす。吉士雄成をもて小  
使とす。福利を通事とす。唐の客に副へて遣はす。爰に天皇、唐の帝を聘  
ふ。其の辞に曰く、「東の天皇、敬みて西の皇帝に白す。使人鴻臚寺の掌  
客裴世清等至りて、久しき憶、方に解けぬ。季秋、薄に冷し。尊、何如に。  
想ふに清愈にか。此は即ち常の如し。今大礼蘇因高・大礼乎那利等を遣し  
て往でしむ。謹みて白す。具ならず」と。是の時に、唐の国に遣はすは学  
生倭漢直福因・奈羅訳語恵明・[ b ]・新漢人大罔、学問僧 [ c ]、  
南淵漢人請安・志賀漢人慧隱・新漢人広濟等、并て八人なり。

<設問>

(1) 史料Aの下線部①「使を遣して朝貢す」とは、中国に倭国が朝貢形式で使者を派遣したことをいう。この時の中国の王朝名を記せ。

(2) 下線部②「海西の菩薩天子」とは誰を指すか。その人物の名を記せ。

(3) 下線部③について、どのようなことが「無礼」とされたのか。簡潔に説明せよ。

(4) 史料Bの空欄 [ a ] には、すべて同じ人物の名が入る。その人物の名を記せ。

(5) 史料Bによると、9月には、裴世清の帰国にともない、もう一度遣隋使が派遣される。史料にはその時の留学生や留学僧の名が列記されている。そのうち、空欄 [ b ] [ c ] の兩名は、大化の新政権において国博士に任命されることになる。[ b ] [ c ] に適切な人物の名を記せ。

C

もろこし我がてうに、もろもろの④智者達のさたし申さるゝ、観念の念ニモ非ズ。又学文をして念の心を悟リテ申念仏ニモ非ズ。たゞ往生極楽のためニハ、[ d ] と申て、疑なく往生スルゾト思とりテ、申外ニハ別ノ子さい候はず。但三心四修と申事ノ候ハ、皆決定して [ d ] にて往生スルゾト思フ内ニ籠り候也。此外ニをくふかき事を存ぜバ、二尊ノあはれみニハズレ、本願ニもれ候べし。念仏ヲ信ゼン人ハ、たとひ一代ノ法ヲ能々学ストモ、一文不知ノ愚とんの身ニナシテ、尼入道ノ無ちノともがらニ同シテ、ちしやノふるまいヲせずして、只一かうに念仏すべし。

<設問>

(6) 史料Cは、鎌倉仏教の宗祖の一人が、臨終にあたって著したとされる法語である。その人物の名を記せ。

(7) 下線部④「智者達」とは、念仏往生の教えを説いた高僧たちを指す。なかでも『往生要集』を著した人物は有名である。その人物の名を記せ。

(8) 文中の空欄 [ d ] には、往生極楽のために申すべきであるとされた言葉が入る。どのような言葉か。漢字六文字で記せ。

(9) 史料Cの法語を述べた人物の弟子で、後に関東で活躍し、『教行信証』を著したのは誰か。その人物の名を記せ。

【2】次の文章Aおよび史料B・Cを読み、設問に答えよ。

A

1441年に、室町幕府の将軍〔 a 〕は、有力守護の赤松満祐に殺害される。その後の将軍代替わりに連動して、徳政を求めて〔 b 〕の徳政一揆が起こる。このように、将軍権威の失墜と庶民の発言力向上は即応していた。その後も将軍〔 c 〕の後継者をめぐる家督争いを発端として応仁の乱が起こり、室町幕府の権威はさらに失墜する。

この応仁の乱以降、各地では月に6回市を開く〔 d 〕が一般化した。また、京都では常設の小売店が一般化し、通りに面して商品を並べる〔 e 〕が設置された。大量の物資が運ばれる京都への輸送路では、〔 f 〕や車借などの運送業者も活躍した。

B

定む 〔 g 〕の事 京銭・打平等を限る

右、①唐銭に於いては、善悪を謂はず、少瑕を求めず、悉く以て諸人相互ひに取り用うべし。次に②悪銭売買の事、同じく停止の上は、彼と云ひ、是れと云ひ、若し違犯の輩有らば、其の身を死罪に行ひ、私宅に至っては結封せらるべきの由、仰せ下さるゝ所なり。仍て下知件の如し。

永正三年（1505年）十月十日

C

九月 日、一天下の土民蜂起す。③徳政と号し〔 h 〕・〔 i 〕・寺院等を破却せしめ、雑物等恣にこれを取り、借錢等悉くこれを破る。官領これを成敗す。凡そ亡国の基、これに過ぐべからず。日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり。

〈設問〉

- (1) 文章Aの空欄 [ a ] ～ [ f ] に適切な語句を記せ。
- (2) 史料Bの空欄 [ g ] に適切な語句を、漢字2文字で記せ。
- (3) 下線部①「唐銭」とは、中国から渡来した銭貨のことである。この時期に新たに流入してきた永楽通宝・洪武通宝などを総称して何と呼ぶか。
- (4) 下線部②「悪銭」の代表例で、民間において公許を得ずに鑄造された銭貨を何と呼ぶか。漢字3文字で記せ。
- (5) 史料Cは、ある事件の様子を伝えている。その事件は何と呼ばれるか。
- (6) 下線部③「徳政」とは、ここではどういう意味か。
- (7) 空欄 [ h ] [ i ] には、史料Bの法令とも関わりの深い業種が入る。適切な語句を記せ。

【3】次の史料A・Bを読み、設問に答えよ。

A

臣 [ a ]、謹テ皇国時運ノ沿革ヲ考候ニ、昔シ王綱紐ヲ解キ相家権ヲ執リ、①保平ノ乱政権武門ニ移テヨリ、②祖宗ニ至リ更ニ寵眷ヲ蒙リ、二百余年子孫相受ク。臣其職奉スト雖モ、政刑当ヲ失フコト少カラス。今日ノ形勢ニ至リ候モ、畢竟薄徳ノ致ス所、慙懼ニ堪ヘス候。況ヤ当今、外国ノ交際日ニ盛ナルニヨリ、愈朝権一途ニ出申サス候テハ、綱紀立チ難ク候間、従来ノ旧習ヲ改メ、政権ヲ [ b ]ニ帰シ奉リ、広ク天下ノ公議ヲ尽シ、聖断ヲ仰キ、同心協力、共ニ皇国ヲ保護仕候得ハ、必ス海外万国ト並立ツヘク候。臣 [ a ] 国家ニ尽ス所是ニ過キスト存シ奉リ候。去リ乍ラ猶見込ノ儀モ之有リ候得ハ、申シ聞クヘキ旨、諸侯江相達シ置候。之ニ依テ此段謹テ奏聞仕候。以上。

〈設問〉

(1) 史料Aは、慶応3年(1867年)10月14日に提出された文書で、[ ア ]の上表文と呼ばれる。[ ア ]に適切な語句を記せ。

(2) 文中の空欄 [ a ] [ b ] に適切な語句を記せ。

(3) 下線部①「保平ノ乱」とは、12世紀に起こった2つの事件を指す。その2つの事件はそれぞれ何と呼ばれるか。

(4) 下線部②「祖宗」とは誰を指すか。その人物の名を記せ。

B

徳川内府従前御委任ノ大政返上、將軍職辞退ノ兩条、今般断然聞シ食サレ候。抑③癸丑以来未曾有ノ国難、④先帝頻年宸襟ヲ惱サレ候御次第、衆庶ノ知ル所ニ候。之ニ依テ叡慮ヲ決セラレ、王政復古、国威挽回ノ御基立テサセラレ候間、自今撰関幕府等廢絶、即今、先ス仮ニ、総裁・議定・参与ノ [ c ] ヲ置カレ、万機行ハセラルヘシ。諸事神武創業ノ始ニ原キ、縉紳、武弁、堂上、地下ノ別ナク、至当ノ公議ヲ竭シ、天下ト休戚ヲ同シク遊サルヘキ叡慮ニ付キ各勉勵、旧来驕惰ノ汚習ヲ洗ヒ、尽忠報国ノ誠ヲ以テ奉公致スヘク候事。

〈設問〉

(5) 史料Bは、史料Aの提出をうけて討幕派が発した文書である。文中の言葉を用いて呼ばれるこの文書の名称を記せ。

(6) 下線部③「癸丑」とは 1853 年を指す。その時に起こった「国難」とは何か。

(7) 下線部④「先帝」とは誰のことか。

(8) 文中の空欄 [ c ] に適切な語句を記せ。